



## 新着図書案内



『HOKKAI』 高樹 のぶ子 著 新潮社

フランスの下宿の娘ミミ、学友・乃木希典、美術商ルネ・ウィナー、園芸家ヴィクトール・ルモワヌ、高島北海自身、そして現代に生きる女性作家「私」から、語られる、植物を愛した画家の謎と真実。

### 大河ドラマ「功名が辻」が始まります!!

「功名が辻」をより面白く見るために、こちらの本をご紹介します。



『NHK大河ドラマ・ストーリー 功名が辻 前編』

／日本放送出版協会

ドラマの解説や撮影風景、出演者のインタビューなど、より詳しく「功名が辻」のことが知ることが出来ます。  
「功名が辻」が楽しみな人にぴったりです。



こちらのもうひとつ

●『大河ドラマ「功名が辻」完全ガイドブック』 東京MOOK・TVガイド特別編集

／東京ニュース通信社

●『別冊ザテレビジョン NHK大河ドラマ「功名が辻」』

角川インタラクティブ・メディア・発行 ／角川書店・発売

### レファレンス係から 「大人の遠足 歴史講座 (体感高天神城)」



高天神へバスでのんびり行きましょう——というもくろみは、最初から雲行きがあやしくなっていた。というのも今年の冬は寒波が早々にやってきて、12月だというのに連日大雪のニュースがテレビで報じられていたからだ。

「どうか暖かい日でありますように」の願いもむなしく、当日は身を切るような朝。

欠席者続出と思いきや、総勢48人。熱い気持ちがひしひしと伝わってくる。今回の講師は高天神城のことは知り尽くしている文化財係の鬼澤勝人さん。

遠目に見ると何の変哲もない山なのに、バスを降りて緑の中に一歩足を踏み入れると急な断崖がそびえ立ち私たちを待っていた。中世の城は砦。端正な掛川城を見慣れている目には「城」というイメージが根底からひっくり返される。

身を切るような場所は黙々と歩き、風が止み陽がほっこりと当たった山頂に着いた時、全員が無言で遠くに見える遠州灘や富士山の美しさに見とれてしまった。

風のうなり声の間隔をぬって話してくださる説明を聞きもらさじと集中する参加者。武田軍に囲まれ、織田・徳川の援軍を絶望的な状況で待っていた小笠原城主の気持ちが切々と体感できる歴史講座だった。

(担当：F)